

テレメータ D3 シリーズ		
取扱説明書	Modbus / TCP (Ethernet) 用 通信カード	形 式
		D3-NE1

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・通信カード 1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
交流電源：定格電圧 100 ～ 120 V AC の場合
85 ～ 132 V AC、47 ～ 66 Hz、約 20 VA
定格電圧 200 ～ 240 V AC の場合
170 ～ 264 V AC、47 ～ 66 Hz、約 28 VA
定格電圧 100 ～ 240 V AC の場合
85 ～ 264 V AC、47 ～ 66 Hz、
100 V AC のとき約 20 VA
200 V AC のとき約 28 VA
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合
24 V DC ± 10 %、約 12 W

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。
- ・本器のスイッチ類は、通電時に操作しないで下さい。スイッチによる設定変更は、電源が遮断された状態で行って下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ～ +55℃ を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●セキュリティ上の注意事項

- ・本器を設置するネットワークの環境において、インターネットなどネットワーク経由による外部機器からの不正アクセス、DoS 攻撃、その他のサイバー攻撃に対して、システムのセキュリティ（可用性、完全性、機密性）を保つためには、ファイアウォールや VPN の設置などの対策を盛り込んで下さい。
- ・サイバー攻撃により発生するシステムトラブル上の諸問題に対して、弊社はその責任を負わないものとさせていただきます。

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

取付方法

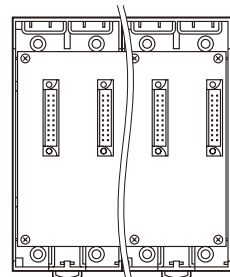
ベース（形式：D3-BS）、アドレス可変形ベース（形式：D3-BSW）、バックアップ電池対応ベース（形式：D3-BSB）をお使い下さい。ただし、通信カード（形式：D3-NE1）をベースに取付ける前に、下記の項目を行って下さい。

■伝送データの割付（スロット割付）

側面のスロット割付設定用ディップスイッチ（SW1、SW2）にて、スロットごとに入出力カードのデータエリア（データ数）を設定します。これにより、伝送データが割付けられます。

■ベースへの取付

I/O 1 / O 2 ... I / O n



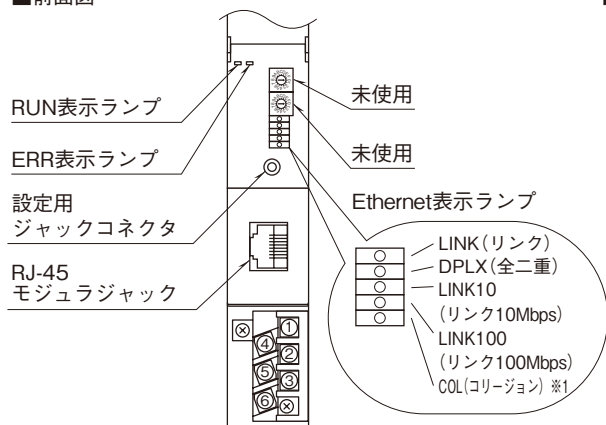
D3-BS、D3-BSB 使用時は、入出力カードは、I / O 1 から順に実装して下さい（通信カードに対し、I / O 1 から割付けられます）。

通信カード、電源カードは、全てのスロットに実装可能ですが、基本的には入出力カードの右側、またはベースの右側の実装して下さい。I / O 1、I / O 2 などに電源カード、通信カードを実装した場合、電源カード、通信カードが占有する入出力データエリアが使用できなくなります。

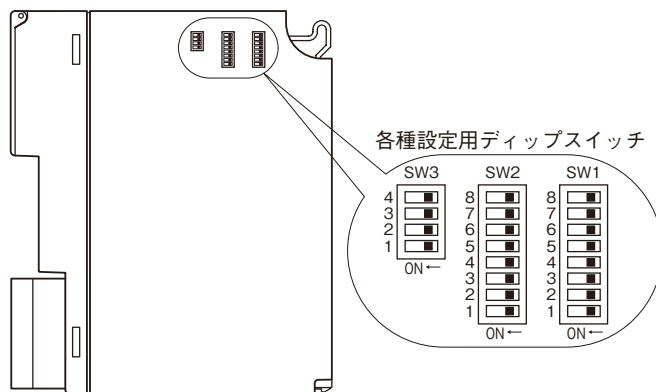
D3-BSW には、ロータリスイッチによりスロット番号が任意に設定することができます。これにより、実装するスロットを自由に変更することができます。

各部の名称

■前面図



■側面図



※1. Ver.4.01以降はCOLは未実装です。

■Ethernet 表示ランプ

ランプ名	表示色	動作
LINK	赤色	LINK 時点灯
DPLX	赤色	全二重通信時点灯
LINK10	赤色	10 Mbps 接続時点灯
LINK100	赤色	100 Mbps 接続時点灯
COL	赤色	コリジョン時点滅

Ver. 4.01 以降は COL は未実装です。

■ディップスイッチの設定

(*) は工場出荷時の設定

●スロット割付の設定 (SW1、2)

D3 シリーズの入出力カードには、入出力点数により、占有エリア（データ量）の異なる 4 種のタイプがあります。このため、各スロットにどのタイプの入出力カードを実装するかを SW1 および SW2 にて設定します。SW1 および SW2 により、スロット 1 からスロット 8 を任意に設定することができます。スロット 9 以降はスロット 8 と同じタイプのカードとなります（各スロットの設定は、2 ビットにて設定します）。

SW		占有エリア(データ数)
SW1-1	SW1-2	スロット 1
SW1-3	SW1-4	スロット 2
SW1-5	SW1-6	スロット 3
SW1-7	SW1-8	スロット 4
SW2-1	SW2-2	スロット 5
SW2-3	SW2-4	スロット 6
SW2-5	SW2-6	スロット 7
SW2-7	SW2-8	スロット 8
OFF	OFF	1
ON	OFF	4
OFF	ON	8
ON	ON	16

●機能設定 (SW3)

通信カードの機能を設定します。

・メイン／サブ切替設定 (SW3-1)

テレメータ通信カード（形式：D3—LT □、D3—LP1）およびモデムインタフェースカード（形式：D3—LR □）と組み合わせてご使用になる場合は、必ず“ON：サブ”に設定して下さい。

テレメータ通信カードおよびモデムインタフェースカードと組み合わせず、PLC のスレーブとしてご使用になる場合は、“OFF：メイン”に設定して下さい。

SW	メイン／サブ切替	
	メイン	サブ
SW3-1	OFF	ON(*)

・入力データ設定 (SW3-2)

入力カードに異常が発生し、本器と通信ができない場合や、相手局との通信が途絶えた場合の入力値を設定できます。“OFF”に設定した場合は最終値で保持し、“ON”に設定した場合、通信が連続して異常（不可）のときに入力値を“0”にします。詳しくは、解説をご覧ください。

SW	入力データ	
	ホールド	“0”セット
SW3-2	OFF(*)	ON

・ランプ 表示切替設定 (SW3-4)

前面の RUN、ERR のランプの表示内容を切替えます。

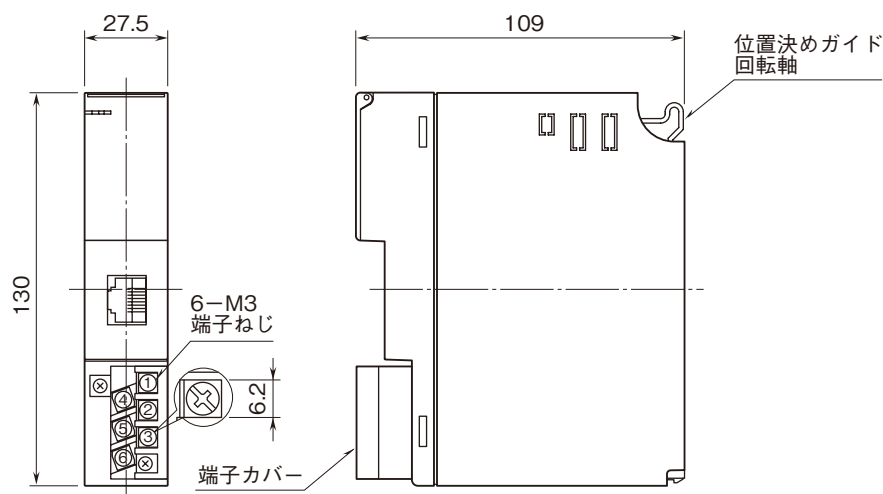
SW3-4	ランプ表示切替	
	RUN	ERR
OFF(*)	正常時 緑色点灯	異常時 緑色点灯／点滅
ON	データ受信時 赤色点灯	データ送信時 赤色点灯

注) SW3-3 は未使用のため、必ず“OFF”にして下さい。

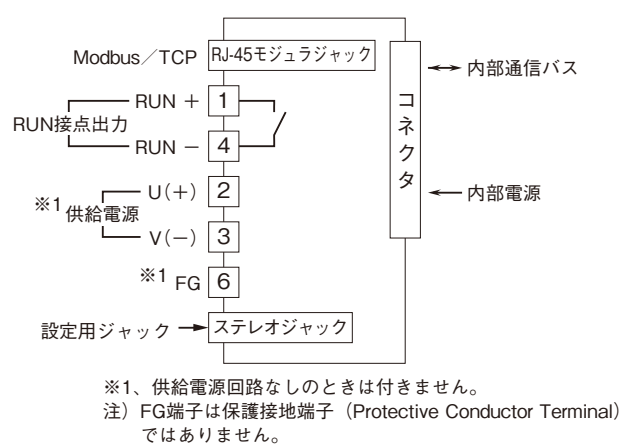
接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位: mm)



端子接続図

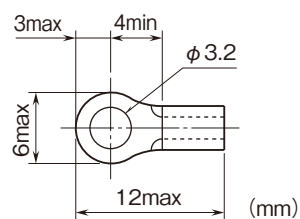


配 線

■端子ねじ
 締付トルク: 0.5 N・m

■圧着端子
 圧着端子は、下図の寸法範囲のものを使用して下さい。
 また、Y形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。
 推奨圧着端子: R 1.25-3 (日本圧着端子製造、ニチフ)
 (スリーブ付圧着端子は使用不可)

適用電線: 0.75 ~ 1.25 mm²



Ethernet の接続確認

■IP アドレスの設定

D3—NE1 は BootP テーブルソフトウェアをサポートしていません。コンフィギュレータソフトウェア（形式：D3CON）を用いて設定します。

Modbus / TCP のポート番号は “502” と決められています。

■スロット割付の設定

側面のスロット割付設定用ディップスイッチ（SW1、SW2）を設定して下さい。
これにより、実装する入出力カードの占有エリア（データ量）が割付けられます。

■配線

パソコンなどと配線をします。

■表示の確認

前面の Ethernet 表示ランプの LINK と LINK10 または LINK100 が点灯します。

配線が正常な場合にはリンク状態となり上記のランプが点灯します。

データ送受信には LINK10 または LINK100 が点滅します。^{*1}

* 1、ファームウェアバージョン V3.00 以降は点灯します。

■D3—NE1 の接続確認

Windows のコマンドプロンプトから ping コマンドにて接続を確認します。

```
C : ¥WINDOWS > ping ***.***.***.***
(***.***.***.*** は IP アドレスを 10 進数で入力します)
```

```
ping ***.***.***.*** with 32 bytes of data :
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64
```

```
Ping statistics for ***.***.***.***
Packets : Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss)
```

正常に接続する場合は、ping コマンドに対し上記のような返答があります。IP アドレスが異なる場合など正常に接続できない場合にはタイムオーバなどの返答となります。

■アプリケーションとの接続

確認 1：リンク

データの送受信にかかわらず、正常に接続することにより前面の LINK、LINK10 または LINK100 が点灯します。これらが点灯していない場合には、ハブの電源などを確認して下さい。

確認 2：RUN 表示ランプ

側面のランプ表示切替（SW3-4）が OFF の状態の場合、正常に送受信を行うと RUN 表示ランプが緑色に点灯します。

確認 3：送受信表示

側面のランプ表示切替（SW3-4）を ON にすると RUN 表示ランプが受信表示（赤色）、ERR 表示ランプが送信表示（赤色）となります。正常時には送受信が高速なため同時に点滅を繰り返します。

Modbus ファンクションコード

■Data and Control Functions

CODE	NAME		
01	Read Coil Status	☐	Digital output from the slave
02	Read Input Status	☐	Status of digital inputs to the slave
03	Read Holding Registers	☐	General purpose register within the slave
04	Read Input Registers	☐	Collected data from the field by the slave
05	Force Single Coil	☐	Digital output from the slave
06	Preset Single Register	☐	General purpose register within the slave
07	Read Exception Status		
08	Diagnostics	☐	
09	Program 484		
10	Poll 484		
11	Fetch Comm. Event Counter	☐	Fetch a status word and an event counter
12	Fetch Comm. Event Log	☐	A status word, an event counter, a message count and a field of event bytes
13	Program Controller		
14	Poll Controller		
15	Force Multiple Coils	☐	Digital output from the slave
16	Preset Multiple Registers	☐	General purpose register within the slave
17	Report Slave ID	☐	Slave type/ 'RUN' status
18	Program 884/M84		
19	Reset Comm. Link		
20	Read General Reference		
21	Write General Reference		
22	Mask Write 4X Register		
23	Read/Write 4X Registers		
24	Read FIFO Queue		

■Exception Codes

CODE	NAME		
01	Illegal Function	☐	Function code is not allowable for the slave
02	Illegal Data Address	☐	Address is not available within the slave
03	Illegal Data Value	☐	Data is not valid for the function
04	Slave Device Failure		
05	Acknowledge		
06	Slave Device Busy		
07	Negative Acknowledge		
08	Memory Parity Error		

■Diagnostic Subfunctions

CODE	NAME		
00	Return Query Data	☐	Loop back test
01	Restart Comm. Option	☐	Reset the slave and clear all counters
02	Return Diagnostic Register	☐	Contents of the diagnostic data(2 bytes)
03	Change Input Delimiter Character	☐	Delimiter character of ASCII message
04	Force Slave to Listen Only Mode	☐	Force the slave into Listen Only Mode

Modbus I / O 割付

	ADDRESS	DATA TYPE	DATA
Coil (0X)	1 ~ 1024		Digital output (接点出力)
Input (1X)	1 ~ 1024		Digital input (接点入力)
	1025 ~ 1040		カード情報
	1041 ~ 1056		異常情報
	1057 ~ 1072		データ異常情報
Input Register (3X)	1 ~ 256	I	Analog Input (アナログ入力)
	257 ~ 768	F	Analog Input (アナログ入力)
Holding Register (4X)	1 ~ 256	I	Analog output (アナログ出力)
	257 ~ 768	F	Analog output (アナログ出力)

DATA TYPE

I : Int 0 ~ 10000 (0 ~ 100 %)

F : Floating (32 ビットデータは、Floating アドレスでアクセスすることはできません)

注) 上記以外のアドレスにはアクセスしないで下さい。誤動作等の原因になります。

①カード情報

各カードの実装（有無）状態を示します。親局・子局の両方またはいずれかにカードが実装されている場合は、対応するビットが“1”に、親局・子局の両方にカードが実装されていない場合は、対応するビットが“0”になります。

②異常情報

各カードの異常を示します。

- ・ D3—TS □、D3—RS □の入力がバーンアウト
- ・ D3—DA16A の入力電源が異常、または未接続
- ・ D3—YS □の出力電流が異常（負荷未接続など）
- ・ D3—PC16A の外部供給電源が異常、または未接続

上記の状態が発生した場合、対応するビットが“1”となります。

③データ異常情報

各入力カードの入力値が -15 % 以下または 115 % 以上の場合、対応するビットが“1”となります。

伝送データ

本体側面のディップスイッチにより、各入出力カードの伝送データ数（占有エリア）を設定することができます。

例えば、下記のように設定した場合

スロット 1	4
スロット 2	4
スロット 3	4
スロット 4	1
スロット 5	1
スロット 6	1
スロット 7	1

入出力データは次のように割付けられます。

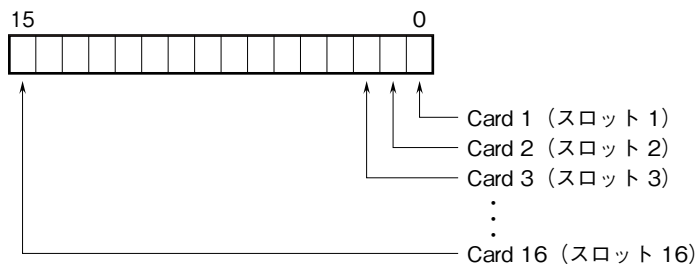
	ADDRESS	カード位置
Input Register (3X)	1 ~ 4, 257 ~ 264	スロット 1
Holding Register (4X)	5 ~ 8, 265 ~ 272	スロット 2
	9 ~ 12, 273 ~ 280	スロット 3
	13, 281 ~ 282	スロット 4
	14, 283 ~ 284	スロット 5
	15, 285 ~ 286	スロット 6
	16, 287 ~ 288	スロット 7

	ADDRESS	カード位置
Coil (0X)	1 ~ 64	スロット 1
Input (1X)	65 ~ 128	スロット 2
	129 ~ 192	スロット 3
	193 ~ 208	スロット 4
	209 ~ 224	スロット 5
	225 ~ 240	スロット 6
	241 ~ 256	スロット 7

注) Coil (0X)、Input (1X) の割付は、伝送データ数（占有エリア）が“1”または“4”の場合には、伝送データ数を16倍したアドレスを割付けます。伝送データ数が“8”または“16”の場合には、強制的に64（4×16）のアドレスを割付けます。

入出力データ

■カード情報、異常情報、データ異常情報



各スロットの入出力カードの有無および異常を示します。

■アナログデータ（16 ビットデータ長、形式：D3—SV4、YV4、DS4、YS4 など）



16 ビットのバイナリデータ

基本的に、各カードで設定されている入出力レンジの 0 ～ 100 % を 0 ～ 10000 のバイナリ（2 進数）で示します。
-15 ～ 0 % の負の値は 2 の補数で示します。

■アナログデータ（16 ビットデータ長、形式：D3—RS4、TS4 など）

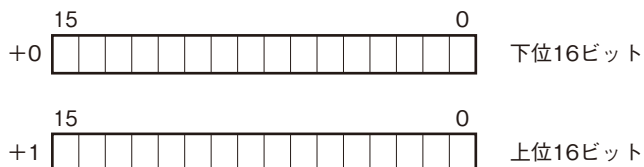


16 ビットのバイナリデータ

基本的に、温度単位が摂氏（℃）の場合には 10 倍した整数部を示します。例えば、25.5℃の場合は“255”がデータとなります。また、温度単位が華氏（°F）の場合には整数部がそのままデータとなります。例えば、135.4°Fの場合は“135”がデータとなります。

負の値は 2 の補数で示します。

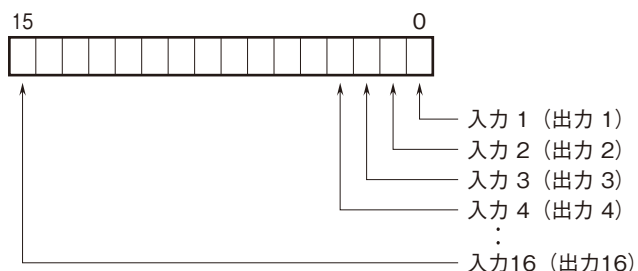
■アナログデータ（32 ビットデータ長、形式：D3—BA32A、BC32A など）



BCD コードデータは、32 ビット長のバイナリデータです。

低アドレスから順に下位 16 ビット、上位 16 ビットが配置されます。

■16 点用接点データ（形式：D3—DA16、DC16 など）



0 : OFF

1 : ON

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。

コンフィギュレータソフトウェア（形式：D3CON）の使用方法については、D3CON の取扱説明書をご覧ください。

■通信設定

項 目	設定範囲	初期値
Time (未通信検出時間)	2～32000 (0.1 秒)	30 (0.1 秒)

■Ethernet 設定

項 目	設定範囲	初期値
IP Address (IP アドレス)	0.0.0.0～ 255.255.255.255	192.168.0.1
Subnet Mask (サブネットマスク)	0.0.0.0～ 255.255.255.255	255.255.255.0
Defaul Gateway (デフォルトゲートウェイ)	0.0.0.0～ 255.255.255.255	192.168.0.100
TCP Socket (TCP ソケットポート番号)	0～32767	502
Linger (無通信時間)	0～32767 (0.1 秒)	1800 (0.1 秒)

①本器を実装しているベース上の入力カードの場合

入力カードに異常が発生し、本器との通信ができない場合、“OFF” に設定したときは最終値で保持し、入力カードとの通信が再開されるまで入力データを更新しません。“ON” に設定した場合は、本器との通信が連続して異常（不可）のときに入力値を“0”にします。

②本器を実装しているベース上に出力カードがなく、相手局の同スロットに入力カードが実装されている場合

相手局との通信に異常が発生した場合、“OFF” に設定したときは最終値で保持し、相手局との通信が再開されるまで入力データを更新しません。“ON” に設定した場合は、相手局との通信が連続して異常（不可）のときに入力値を“0”にします。

③本器を実装しているベース上に出力カードがあり、相手局の同スロットに入力カードが実装されている場合

スイッチの設定にかかわらず、相手局との通信に異常が発生すると、最終値で保持し、相手局との通信が再開されるまで入力データを更新しません。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

解 説

■入力データ設定（SW3-2）について

入出力カードの構成による違いについて説明します。

